

# 加西ふるさと秋ミーティング 2013 質問等一覧

市内11小学校区で開催しましたタウンミーティングでは、共通テーマとして「ごみ処理の広域化」と小学校区ごとに地域選択テーマを選んでいただいた2部構成で、自治会運営を担われているみなさまを中心に参加していただきました。会場でお聴きした提案や意見をお知らせします。

今回、頂戴しましたご意見ご提案を、今後の市政に可能な限り反映させてまいります。

校区名	開催日時・場所	参加者数
西在田小学校区	11月5日(火) 19:00 ~ 21:00 下若井町公民館	28名
ごみ処理広域化についての質問		
No	意見概要	市の回答など
1	来年4月よりごみ袋が安くなるとのことでありますが、自宅に在庫のごみ袋がたくさんあります。在庫のごみ袋は使用ができるのですか。	来年度もデザインは変更しておりませんので使用することは可能です。
2	来年度より収集ブロックを市内の3ブロックから8ブロックに変更するとのことでありますが、現在は収集日が祝日と重なれば1回分が無くなってしまい、夏季には大変困ってしまいます。今後はどうなるのですか。	市民のみなさまからも、困っているとの話を聞いております。来年度からは小野加東事務組合は祝日も受け入れを行っておりますので、加西市も事務組合の開場に合わせて祝日も収集を行いたいと考えています。
3	日曜日に町行事で大量のごみが出た場合、翌日の月曜日にターミナルに出せたらいいのですが出せなかった場合に小野クリーンセンターへの持ち込みになりますが、小野クリーンセンターまでは遠距離でありますので、できたら加西市クリーンセンターでの受け入れをお願いしたい。	基本的には燃えるごみ以外は加西市のクリーンセンターで受け入れは可能ですが、焼却炉も廃止しますので、基本的には受け入れをしません。近くターミナルに分別をしていただいで出していただきたいと考えています。また、中継方式をするのは、ターミナルに出せない個人事業者のみだけと考えています。

## 加西ふるさと秋ミーティング 2013 質問等一覧

4	<p>説明の中で人員の削減として13名から5名にするとのことですが、一度に削減することは何か確実な予定でもあるのですか。反発が予測されると思いますが。</p> <p>どういった方向で一度に削減ができるのですか。</p> <p>剪定枝をリサイクルして堆肥化するために業者委託されるとのことですが、もう業者選定されているのですか。</p>	<p>8名は配置転換を考えています。配置先については本庁内の現業職として現在、検討中ではありますが、おおむね予定は就いております。</p> <p>しかし、一度に8名を削減しますと業務に支障をきたしますので、段階的に半年あるいは1年先には最終的に5名まで削減したいと考えています。</p> <p>また、現在のごみ量全体のうち8割程度が入ってこなくなりますので、人員削減を行っても業務に支障がないと考えています。</p> <p>剪定枝のリサイクルを行う業者であります。年が明けましたら堆肥化を行う民間の業者を公募により募ろうと考えています。</p> <p>また、県内にも数社、剪定枝のリサイクルを行っている業者を把握していますので、事前に視察してきまして、その中で競争入札を考えています。</p>
5	<p>粗大ごみについてであります。加古川、姫路では粗大ごみもターミナルに出して収集されています。町内におきましても高齢化、高齢化世帯の方から町内1か所でもいいから収集していただきたいとの要望がでております。できましたら検討していただきたい。</p>	<p>現在は直接搬入としていますが、今後は西在田地区で1か所というような拠点回収の構想はもっております。</p> <p>小野市内でも拠点回収の方法をとり収集しています。</p>
6	<p>組合の負担金についてであります。初年度負担金のごみ量実績はどのようにカウントされるのですか。</p>	<p>ごみ量の実績は来年4月以降から1年間により確認されます。</p> <p>小野クリーンセンターへ搬入した時に受付窓口において、免許証提示により加西市、加東市、小野市の区分がされ集計されます。</p> <p>前年度のごみ量により清算されていきます。</p> <p>ごみ量の増減により負担金の増減がありますので、来年1年間のごみ量を減量していきたいと考えています。</p>

## 加西ふるさと秋ミーティング 2013 質問等一覧

7	平成26年度の負担金はどのような計算になりますか。	平成26年度のごみ量により平成27年度に清算払いします。
<p>【地域選択テーマ】</p> <p>・若者が暮らしたいまちづくり ・加西市の産業(農業・商工業)の担い手と今後</p>		
8	6次産業化による農業所得の増加と言われるが、加西市と取り組まれているところはあるのか。	市内では、今のところ無い状況です。法人格をもった営農組合が現在検討されています。
9	奨学金制度について、加西市独自の制度はあるのか。また、建築補助の実績はどのような状況か。	市独自の制度はありません。多くは、日本学生支援機構の奨学金を利用されているようです。 賃貸アパート等の補助については、固定資産税・都市計画税が建物によって異なるので、補助額もそれぞれ違いますが、H23には15棟新築され、年額500万円程度となります。対象はH25新築分からです。
10	調整区域について、建築しにくいと聞くと、加西IC周辺の整備を図ってはどうか。	加西IC周辺については、都市計画法・農振法という規制がある地域になります。特に都市計画法について県に許認可を受ける必要があり、いろいろ調整しているのですが、なかなか難しい状況です。
11	現状はわかるが、打ち破ってほしい。積極的に取り組んでいかないといけないと思う。	県には常に伝えていきます。回答の中で人口が増えてくれば対応していくと言われていきます。人口を増やすことを市としてがんばらないといけないと考えています。 各法律の制約の中でも建築できる仕組みはあり、現在、地縁者住宅区域を広げる作業を進めている。
12	働くところが無い。工場誘致してほしい。	産業団地の企業で、3/4 は市外から入ってきた企業。企業からは、採用募集しても加西の人が来てくれないと話されています。

## 加西ふるさと秋ミーティング 2013 質問等一覧

		また、学生が企業情報を得やすいように、就職ナビの活用。小学生向けに市内企業の工場見学を実施しています。
13	国内の企業が海外へ工場を移していき、4人に1人が200万円以下の収入という労働条件の制度を整えていくことが必要だと思うので、国に要望してほしい。	市としても非正規雇用の者が多いことは認識しています。社会保障制度も苦しくなっています。公契約条例の制定を進めている、西日本では取組が低い傾向です。
14	生産森林組合に年間70万円の費用が必要。市民税の均等割を減免してほしい。	個別で対応します。
15	通学路について、大内町の道を利用したらどうでしょうか。	通学路については、地域と学校とPTAと話し合ってもらい、検討していただきたいと思います。
16	西在田全体で鹿柵の設置工事が進められている。山を囲むと今度は鹿による食害で木々が枯れる恐れがある。鹿が多すぎるのが問題なので、個体数を減らすように進めてほしい。	鹿の駆除については、猟友会にお願いしています。鹿や猪の個体数を減らすことは、市全体の課題になりつつあります。
17	5万人に向けて市と市民が協力していく必要がある。小学校の耐震化については、重点課題として前倒しされてきた。幼稚園について、平成28年には統合してほしい。	小学校は、6年間を過ごす場所で、ふるさとを認識する期間。幼保は大人数の中で育てるべきだと考えています。きちんと方向性を定め、市内全域で議論する必要があると考えています。
18	80歳を過ぎていますが、へき地の魅力ある地域へ、若者が住んで良かったと思う地域を作ってもらいたい。	へき地とは思っていないし、魅力あふれる地域だと思っています。地域づくりのアイデアをどんどん提案してください。

## 加西ふるさと秋ミーティング 2013 質問等一覧

19	加西市というところは特徴が無い。地域活動を進めるには、条例や前例を言い訳にはいけない。スーパー公務員を育ててほしい。	意見として拝聴
----	--	---------